

赤ちゃんが生まれたら



出生届

問 住民生活課 ☎72-6908

出生届は、生まれた日を含めて14日以内に提出することが法律で定められています。届け出のできる場所は、届出人の本籍地または所在地、赤ちゃんの出生地の市町村役場です。その後のサービスを受けるためにも必要で大切な届けです。

◎持って行くもの

- ・出生証明書(医療機関や助産所で証明したもの)
- ・母子健康手帳

◎窓口

- ・役場本庁住民生活課
- ・各支所



児童手当

問 住民生活課 ☎72-6908

中学校修了前のお子さんを養育している方に、児童手当を支給しています。受給するには認定請求(申請)が必要です。

◎窓口

- ・役場本庁住民生活課
- ・各支所

◎必要なもの

- ・請求者の健康保険証
- ・請求者名義の預金通帳
- ・請求者と配偶者の個人番号の分かるもの(マイナンバーカード、通知カード)

赤ちゃんが生まれたら

こども医療費の助成制度

問 住民生活課 ☎72-6909

お子さんの医療費を助成しています。
医療費の助成を受けるには資格の登録が必要です。

◎必要なもの

- ・お子さんの保険証
- ・養育者の通帳

乳幼児おむつ等購入助成券事業

問 こども未来課 ☎72-6959

那須町の次世代を担う子どもの出産を祝い、その後の健やかな成長を応援するため、子育てに必要な乳幼児用おむつ及びその関連商品を購入する費用の一部を助成する「乳幼児おむつ等購入助成券」を対象者に交付します。

◎交付対象者

- 0歳から2歳の乳幼児の保護者

赤ちゃん訪問

問 子育て支援センター ☎71-1137

町保健師等がお宅を訪問し、赤ちゃんの発育の確認やお母さんからの相談に応じます。すべての赤ちゃんのお宅に訪問させていただいています。

◎手続き

出生届の際に、新生児連絡票を提出(新生児連絡票は母子手帳交付の際にお渡しするほかに、出生届の際に窓口にもおいてあります。)

低出生体重児の届出

問 子育て支援センター ☎71-1137

赤ちゃんの体重が2,500g未満の場合は低出生体重児といい、届出が必要です。新生児連絡票が低出生体重届となります。

養育医療

問 住民生活課 ☎72-6909

養育医療は、身体の発育が未熟なままに生まれて、入院を要する赤ちゃんを支援する制度です。指定養育医療機関に入院したお子さんの、養育に必要な医療費を給付します。医療費給付のため必ず入院中に申請してください。

◎必要なもの

- ・お子さんの保険証

新生児聴覚検査

問 子育て支援センター ☎71-1137

赤ちゃんの耳の聞こえを確認するために病院で新生児聴覚検査を受けましょう。那須町では、新生児聴覚検査の費用の一部助成を行っています。

産後ケア

問 子育て支援センター ☎71-1137

那須町では産後も安全に子育てができるようお母さんをサポートする「産後ケア事業」の費用の一部助成を行っています。

赤ちゃんの1か月児健康診査

問 子育て支援センター ☎71-1137

赤ちゃんの成長発達の確認のために健康診査を受けましょう。那須町では生後1か月の時の健診の費用の一部を助成します。

ママのための産後の健康診査

問 子育て支援センター ☎71-1137

産後1か月は、産後うつや母体の回復のための大事な時期です。産後のママの体の健康管理のため、健康診査を受けましょう。那須町では、医療機関で受ける産後の健康診査の費用の一部助成を行っています。

ママと赤ちゃんのリフレッシュ教室

問 子育て支援センター ☎71-1137

2か月を過ぎた赤ちゃんとそのお母さんが一緒に、ベビーマッサージを通して赤ちゃんとの時間を楽めます。

先輩ママさんたちも同時に参加しママ同士の交流もできます。



赤ちゃんが生まれたら

赤ちゃんが生まれたら、医師などによる診察のほか、成長・発達の確認やお母さんたちの様々な相談に応じています。

🌱 4か月児健診

生後4か月をすぎると、首もすわり、表情も豊かになり育児も楽しくなる頃です。成長の確認と離乳食の話聞き、準備をしましょう。

📍内容 医師(内科・整形外科)の診察、身体計測、離乳食の相談、育児相談、愛着形成のお話

生涯学習課、子育てボランティアの方の協力もあります。

🌱 10か月児健診

生後9か月～11か月頃は、はいはいが始まり目がはなせなくなる頃です。言葉を覚える基礎の時期でもあり、絵本の読み聞かせなど遊びを通して赤ちゃんの成長を確かめましょう。

📍内容 医師(内科・整形外科)の診察、身体計測、離乳食の相談、ファーストブックの贈り物、歯磨き相談(はじめて編)、育児相談

図書館スタッフの絵本の読み聞かせ、ファーストブックの贈り物もあります。

🌱 1歳6か月児健診

1歳6か月をすぎると、歩くのが楽しく、覚え始めたカタコトを話し始める時期で、好奇心旺盛、何でも興味津々、でも、やっぱりママやパパから離れることはちょっと不安、そんな1歳6か月児の健診です。

📍内容 医師(内科・歯科)の診察、身体計測、歯磨き相談(上手な仕上げ磨き)、育児相談

🌱 2歳児歯科検診、2歳6か月児歯科検診

1歳6か月から3歳までの期間にむし歯になる子が急増します。むし歯はかかったら治療しなければなりません。「痛くて、つらい」そんな思いを我が子にさせないために、予防が第一。そのコツをつかみましょう。

📍内容 医師(歯科)の診察、身体計測、歯磨き指導、育児相談

🌱 3歳児健診

3歳は、言葉でのやりとりも視力や聴力も十分発達し、体やこころの成長発達も一つの大きな節目の時期で、これらを確認する大事な健診です。

📍内容 医師(内科・歯科)の診察、身体計測、視力・聴力の確認、歯磨き指導、心理士による相談、育児相談

※実施会場:ゆめプラザ・那須

※乳幼児の健康診査等は、対象の方に、個別に通知を差し上げます。



赤ちゃんが生まれたら

Miniアドバイス 「1歳未満の乳児に、はちみつはNG!!」



はちみつを離乳食に混ぜて赤ちゃんに与え、乳児ポツリヌス症を発症する事例が起きました。はちみつの中にはポツリヌス菌が潜んでおり、1歳未満の乳児は乳児ポツリヌス症を起こすことがあります。1歳未満の乳児には、はちみつを与えないでください。

予防接種

保健センター ☎72-5858

健康状態のよいときに、なるべく早く受けてください。

赤ちゃん訪問の時に、お子さんの「予防接種おたすけファイル」をお渡しします。ファイルの中にある小冊子「予防接種と子どもの健康」を必ず読んでいただき、接種時期を逃さないように受けてください。

◎対象年齢・受け方・助成限度額(0歳～7歳6か月)

予防接種		対象年齢	受け方
定期予防接種	1価ロタ	生後6週0日～ 24週0日	27日間隔で2回接種(標準的には、初回接種は生後14週6日までに進行)
	5価ロタ	生後6週0日～ 32週0日	27日間隔で3回接種(標準的には、初回接種は生後14週6日までに進行)
	Hib	2か月～5歳に 至るまで	・初回接種開始時に2か月～7か月 初回接種:生後12か月に至るまでの間に 27日以上の間隔で3回接種 追加接種:初回接種後7か月以上の間隔を おいて1回接種 ※接種開始時生後7か月を過ぎた場合は 接種回数が変わります。



赤ちゃんが生まれたら

広告

♡よつ葉生協ならではの子育て応援

♡お父さん・お母さんも安心!こだわり安全基準
「子どもが毎日食べても大丈夫」を基準に商品を選んでいます。

よつ葉生協の取り組み

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ①産産-期の見える関係-を築きます | ②地産地消をすすめます |
| ③有機農産物・有機食品を増やします | ④組合員の声を反映した商品を作ります |
| ⑤ネオニコチノイド系農薬の使用を削減します | ⑥食物添加物の使用を減らします |
| ⑦国産原料を優先します | ⑧非遺伝子組み換えの原料を優先します |
| ⑨食品ロス削減に取り組みます | ⑩フェアトレード商品を選びます |

よつ葉生活協同組合 ☎0120-07-1613

よつ葉生協の
子育て応援



定期予防接種

予防接種	対象年齢	受け方
小児用肺炎球菌	2か月～5歳に至るまで	<ul style="list-style-type: none"> ・初回接種開始時に2か月～7か月 初回接種:生後12か月に至るまでの間に27日以上の間隔で3回接種 追加接種:初回接種終了後60日以上の間隔をおいて、生後12か月に至った日以降において、1回接種 ※接種開始時生後7か月を過ぎた場合は接種回数が変わります。
4種混合(DPT-IPV) 1期 D:ジフテリア P:百日咳 T:破傷風 IPV:不活化ポリオ	3か月～7歳6か月に至るまで	1期初回:20日以上の間隔をおいて3回接種 1期追加:1期初回接種終了後6か月以上の間隔をあけて1回接種
B型肝炎	2か月～1歳未満	27日以上あけて2回、1回目から139日以上あけて1回
BCG	3～12か月未満	接種期間が短いので注意してください。(標準的には5～8か月未満で行う)
MR 1期・2期 M:麻しん R:風しん	1期:1歳児 2期:小学校就学前の1年間(幼稚園保育園等の年長児)	麻しん・風しんのどちらにもかかったことが無い方、及びかかったかどうか不明な方はMRワクチンを接種
麻しん(1期・2期)		風しんにかかった方は麻しん単独ワクチン接種
風しん(1期・2期)		麻しんにかかった方は風しん単独ワクチン接種
水痘	1歳～3歳に至るまで	3か月以上の間隔をおいて2回接種

— 広告 —

内科・リウマチ科・整形外科・アレルギー科・小児科・呼吸器内科

那須高原クリニック

Nasu Kogen Clinic

診療時間 午前9:00～12:30(月曜～土曜) 午後3:00～6:30(土曜日のみ2:00～4:00)

受付は診療終了の15分前までとなります 休診日 日曜・祝日

那須塩原市唐杉31-2 ☎(0287) 67-2701 FAX(0287) 67-2702

	予防接種	対象年齢	受け方
定期予防接種	日本脳炎	1期:6か月～7歳 6か月	1期初回:6日以上の間隔を置いて2回接種(標準的には3歳で行う) 1期追加:初回接種終了後6か月以上の間隔をあけて1回接種(標準的には4歳で行う)
任意予防接種	おたふくかぜ	1歳～未就学児	MR1期・2期の接種と一緒に受けましょう。 2回目まで助成します。
	子どもインフルエンザ	1歳児～中学校3年生	1歳～小学校6年:2～4週間の間隔を置いて2回接種 中学生:1回接種

※町との契約医療機関または、定期予防接種の栃木県内相互乗り入れ事業に加入する医療機関で接種される場合は、窓口でのお支払いはありません。ただし、上記の医療機関以外で接種される場合は事前に保健センターに申請の上、立替払いが必要です。

※任意予防接種は、下記の助成金額を引いた額を窓口でお支払い願います。

予防接種の種類	助成金額(1回)
おたふくかぜ	2,650円
子どもインフルエンザ	2,200円



赤ちゃんが生まれたら

広告



**社会医療法人 博愛会
菅間記念病院**

受付時間 月曜日～土曜日 午前7:30～12:00 午後1:15～5:00
診療時間 月曜日～土曜日 午前8:30～12:15 午後1:30～5:30
(休日) 日曜・祝日 年末年始(12月31日～1月3日)



2017年4月より東海と共に地元に戻り、菅間記念病院に小児科医師として勤務しています。私も3人の娘の子育て中です。保母助の皆さまの子育てを応援しています。

小児科 八木 正博先生



菅間記念病院に産科を開設してから毎年200名近い赤ちゃんが誕生しています。私もこの地域の一人として出産等のお手伝いを致します。

産科・婦人科 和田 新一先生

TEL.0570-08-0733(代)

社会医療法人 博愛会